

特集 3R推進月間

ごみを減らすために 私たちにできること

私たちの暮らしは日々便利になっていく一方で、ライフスタイルが多様化しごみが増え続けています。ごみが増えると、環境問題やごみ処理費用の増加など、私たちの生活に悪影響を及ぼしてしまいます。

「3R」を実践し、貴重な資源を大切に使うことで、環境に優しい暮らしを始めましょう。

リサイクルプラザ(資源循環担当) ☎70・5667

もっとごみが減るといいな



市のごみの排出量について

市民1人の1日当たりのごみの排出量は、県内で2番目に少ない状況です。しかし、家庭から出る可燃ごみの量は、平成29年度年から増加傾向にあります。

平成28年度に市で行ったごみ組成分析調査によると、可燃ごみの約半分が、野菜のくずや食べ残しなどの厨芥類や未開封のレトルト食品や乾麺などの未利用食品でした。

食料品の買い過ぎや、食べ残しをしないことで、ごみの量を減らすことができます。

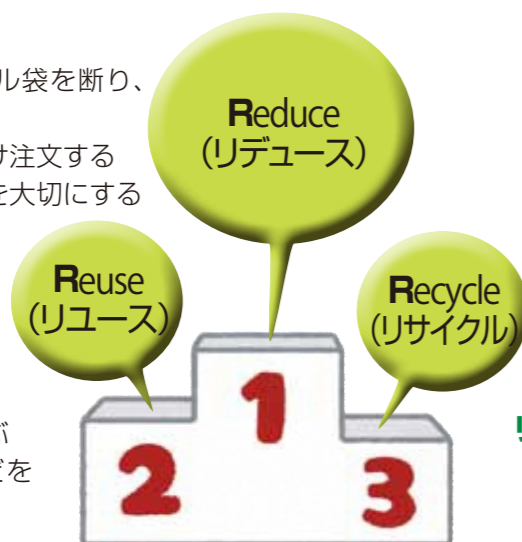
ごみを減らすために「3R」が大切

「3R」とは、ごみとして出す量を減らす「リデュース(Reduce)」、一度使用したものを捨てずに再利用する「リユース(Reuse)」、ごみを資源として再生させる「リサイクル(Recycle)」の頭文字を取ったものです。

その中でも、最も優先度が高いのがリデュースです。まずは、普段自分がどのくらいのごみを出しているのか、意識してみてください。

リデュース

- 買い物のときにビニール袋を断り、マイバッグを使用する
- 外食で食べきれぬ量だけ注文する
- 手入れや修理をして物を大切に使う

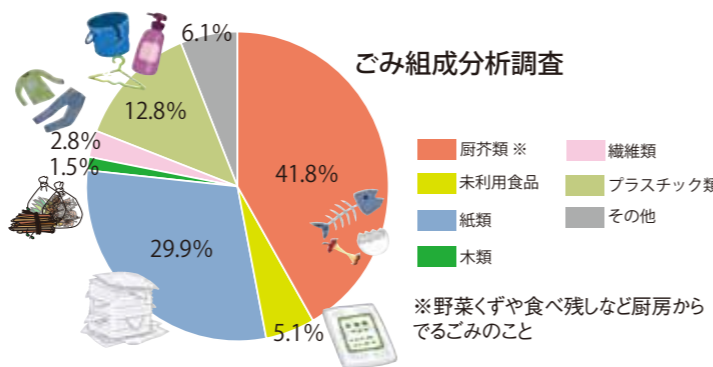
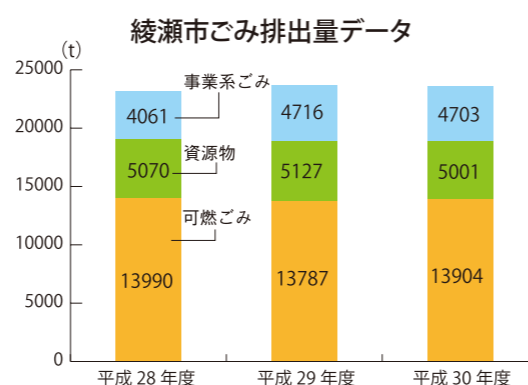


リユース

- 詰め替え用の製品を選ぶ
- フリーマーケットなどを活用する

リサイクル

- 資源物の分別回収に協力する
- リサイクル製品を積極的に利用する



リデュース

ぎゅっと絞って乾かそう

生ごみの水切り

厨芥類は、腐敗して悪臭が出たり、

ごみ袋が重たくなったりしますが、その原因として、野菜くずなどの生ごみに水分が多く含まれていることが挙げられます。



生ごみの水をしっかり絞る「水切り」を行うことで、生ごみの嫌な臭いの減少化や、重いごみを減量化することができます。果物・野菜の皮や茶殻など、水分の多いごみは、できるだけ絞ってきましょう。

絞るだけでなく、乾かすことも有効です。乾きにくい野菜の皮なども細かく切ることで乾燥しやすくなります。

濡れているごみは燃えにくく、焼却するのにたくさんのエネルギーが必要となり、環境にも良くありません。

まずは、生ごみの水切りから始めてみましょう。

リユース

捨てるにはもったいない!

不用品交換情報コーナー

壊れていないけど必要なくなってしまった物がある、まだ使える物を譲ってほしい

などの情報交換の場として、不用品情報コーナーを設置しています。

受け付けた「ゆずります」「ゆずってください」の情報を掲載しているので、ぜひ、利用してください。



▶掲載期間 受け付けから2か月間

▶場 市役所1階市民ホール、リサイクルプラザ ▶宛 市内在住の方 ▶用紙 同コーナーで配布している用紙に品物の詳細、提供希望価格などの必要事項を記入の上、投函箱に提出

☎同プラザ(リサイクルプラザ) ☎76・9522

リサイクル

小型充電式電池が

回収対象になりました

10月から、小型充電式電池が回収対象になりました。リサイクルプラザに持ち込めば、処分します。

分別をせずにごみとして出すと、火災が発生する可能性があります。必ず全ての電池にテープなどを貼り付けて絶縁し、種類ごとに分別してください。



生ごみ処理容器でごみを減量化



生ごみ処理容器とは、電気で乾燥させたり、微生物の働きを利用して肥料にしたりすることで、生ごみを処理する製品のことで、

市では、同容器を購入した方に、購入額の10分の9(上限5万円)を補助する補助制度や、電気式同容器を無償で貸し出す貸与制度を設けています。詳細は市ホームページから確認してください。

同容器を使用することで、ごみの重さが約7分の1に減量します。「毎回水切りをするのは大変」「台所で生ごみが見えていると衛生的じゃない」と悩んでいる方は、利用してみたいかがでしょうか。

補助金制度を知って購入してみました。臭いもしないので、特に夏場には助かっています



生ごみが小さくなってびっくりした!こんなに減るなんて思わなかった



特別ブースを設置 (3R推進月間)

10月は3R推進月間です。3Rに対する理解を深め、循環型社会の形成に向けた取り組みを推進します。

市では、同月間に合わせて、特別ブースを設置します。

ブースでは、ごみを減らすためのアイデアパネルや再生家具のほか、リサイクルされる前の圧縮・梱包(ベール化)されたプラスチックの展示などを行います。

資源物がどのようなものにリサイクルされているのか、ビデオ放送(20分程度)やパネルで学ぶこともできます。ごみを減らす行動は、身近なことから取り組む必要があります。この機会に、3Rについて考えてみませんか。

☎10月1日(火)~28日(月)9時~17時

☎同プラザ(資源循環担当) ☎70・5667



ブースの様子



(写真右)圧縮・梱包されたプラスチック